

# あさる

♪ VOICE OF THE FOREST



No.18  
-2017.10-

## 図書館でLet's study!

- P.1-2 やってみよう 英語多読学習法  
～楽しい英語との付き合い方～
- P.3-4 高知大生に薦める本
- P.5-6 めでいもり Report
- P.7 めでいもり Information



やってみよう

# 英語多読学習法

～楽しい英語との付き合い方～



みなさん「英語」得意ですか？

英語ができればどれだけ世界が広がるか…、と思いますよね。でも勉強となるとわからないところはいちいち辞書を引いて単語を覚えたり、文法はどうだとか大変で何年学習してもなかなか身につけていないという人も多いのではないのでしょうか？

でも、実は「楽しくって続けやすい」そんな英語学習法もあるのをご存じですか？  
英語が苦手な人は英語と仲直りするチャンスです。英語多読学習法を試してみませんか？

もちろん英語の好きな人も多読でもっと英語の世界を楽しんでください。

## 多読ってなに？

「やさしい英語の本からたくさん読む」それが英語多読学習法です。

楽しく、無理なく、マイペースで読み進むうちに知らず知らずの間に英語が体にしみこんで、やがてコップから水がこぼれるように、自分のなかから英語があふれ出してくるようになり、自然に英語が理解できるようになっているのです。英語多読学習法は、1990年代後半、電気通信大学の酒井邦秀准教授より提唱され、徐々に実践者が増え、いまではたくさんの人が多読学習法で成果を得ています。

多読学習を進めるための大切なコツは次の3つ！

## 「多読三原則」と呼ばれています。

### 1. 辞書は引かない

辞書を引くと読書の流れが止まってしまう。どうしても引きたくてイライラするといった場合は多少は引いてもかまいません。辞書なしでもすらすらと読める本から始めてみましょう。

### 2. わからないところは飛ばす

わからないところは読み飛ばしても全体の筋はつかめます。「100%理解」にこだわらず本の内容を楽しみましょう。飛ばしてもわかるようなやさしい本を選んで読んでいきましょう。

### 3. つまらない本はやめる

読み始めてはみたけれど、あまり興味が持てない本、読んでいて疲れる本、内容がわからない本は無理して読み続けずに、別の本を読みましょう。きっともっと楽しい本があるはず。読むのに時間がかかりすぎる本もまだあなたのレベルにありません。ほかの本で十分経験を積んでから後日再チャレンジすることにしましょう。

コツは、「うんとやさしい英語の本から始める」こと

## どんな本を読めばいいの？

多読のための本は、Graded Readers (略称GR) と呼ばれる英語学習者用の段階別読み物、Leveled Reader (LR) と呼ばれる英米の子どもたちが本の読み方を学ぶために使う絵本シリーズ、あとは英語で書かれた児童書です。

図書館(中央館)ではこれらの本を2Fアクティブラーニングフロアの多読用図書コーナーに配架しています。

またこれらの本はシリーズによってはレベル分けがあるものもありますが、出版社によりレベルが異なることから総語数や読みやすさレベル(Yomiyasusa Level 以下YL※)を参考にレベル分けしました。本を選ぶ際の参考にしてください。

※YLとは SSS英語多読研究会が本の読みやすさを評価する共通の基準として決めた値。実際に多読をしている人の声を集約して「日本人学習者にとっての本の読みやすさ」をYL0.0-9.9の数値で評価し、YLの数値が小さいほど読みやすいことを示している。



## 多読といってもどれくらいの量読めばいいの？

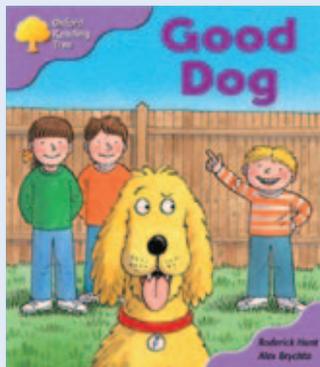
目標はズバリ「100万語！」です(“This is a pen.”という英文は、これで総語数4語と数えます)。

英語を英語のまま理解できる基礎を作るには、総語数100万語程度の読書が必要だと言われています。

# 最初の多読におすすめ

## Oxford Reading Tree (ORT)

多読の第一歩はやさしい絵本から。イギリスの小学校で使われている教科書で、英語を母国語とする子どもたちが読むことを学ぶために、レベル分けされた絵本です。日本人の英語学習者も、この本を童心にかえてStage Iから楽しみながら読んでいくと、英語の文化に浸りながら、知らず知らずのうちに生きた本物の英語が身についていきます。



男の子Kipperとその家族が主人公のシリーズ。絵にはいろいろな仕掛けがたくさんあって、子どもから大人まで絵本の世界を堪能できます。



英語多読学習法について的小冊子「めでいもりdeタドク」を作成しました。メディアの森で配布しています。少しでも興味のある方はぜひ手にとってみてください。

## 参加しよう! 多読ラリー「メディア森de多読」

みなさんの英語多読学習を応援するため多読ラリーを行います。参加方法は下記のとおりです。まずは2万語を目指しましょう! 奮ってご参加ください

.....

多読ラリー「メディア森de多読」の参加方法  
期間:平成29年9月から平成30年3月31日まで  
対象:本学学生、院生、教職員

- ①メディアの森1F総合案内でエントリーして「メディア森de多読」記録ノートを受け取る
- ②メディアの森2F「英語多読コーナー」の本を選ぶ (貸出ももちろんOK)
- ③自分で目標を決め、楽に読めるものから多読スタート!
- ④読み終えたら記録ノートにタイトル、語数、感想などを記録する
- ⑤記録ノートで総語数が下記の数字に達したら総合案内でスタンプを押してもらい、プレゼントを受け取る

- .....
- \*2千語クリアで図書館オリジナルクリアファイルをプレゼント!
  - \*5千語クリアで図書館オリジナルメモ帳をプレゼント!
  - \*1万語クリアで図書館オリジナルバックをプレゼント!
  - \*2万語クリアで図書カード(500円分)をプレゼント!

# 英語多読本レベル分け

レベル	YL (Yomiyasusa Level)	使用語彙数 (Headwords)	1冊あたりの総語数 (Length(word count))	背表紙ラベル色
レベル0	YL0.0-0.9	200-300語	1-1,500語	赤
レベル1	YL1.0-1.9	300-600語	500-4,000語	オレンジ
レベル2	YL2.0-2.9	600-1,000語	3,000-6,000語	青
レベル3	YL3.0-3.9	1,000-1,700語	6,000-12,000語	黄緑
レベル4	YL4.0-4.9	1,300-2,200語	8,000-20,000語	黄
レベル5	YL5.0-5.9	2,000-3,000語	15,000-40,000語	ピンク
レベル6	YL6.0-6.9	3,000-5,000語	20,000-120,000語	白
レベル7	YL7.0-9.9	5,000語以上	80,000-200,000語	



英語多読本には裏表紙にレベルや総語数についての情報、背表紙上部にはレベルごとに色分けしたラベルを貼っています。

英語多読学習法については下記の図書やWEBサイトがあります。詳しく知りたい方は参考にしてください。

- (1) 酒井邦秀『快読100万語! ペーパーバックへの道』ちくま学芸文庫、2002年6月
- (2) 古川昭夫監修・著ほか『英語多読入門 やさしい本からどんどん読もう! めざせ100万語』コスモトピア、2011年1月
- (3) 古川昭夫ほか『英語多読完全ブックガイド』改訂第4版、コスモトピア、2013年4月
- (4) 酒井邦秀・西澤一編著『図書館多読への招待』日本図書館協会、2014年8月
- (5) SSS英語多読研究会 <http://www.seg.co.jp/sss/learning/>
- (6) NPO多言語多読 <http://tadoku.org/>

表紙の人



中央館の学生スタッフのお二人です。(英語多読コーナーにて)  
左:清水明日香(教育学部4年)「かわいい絵本がたくさん!」  
右:久保彩乃(人文社会科学部1年)「これなら無理なく始められそう」



# 高知大生

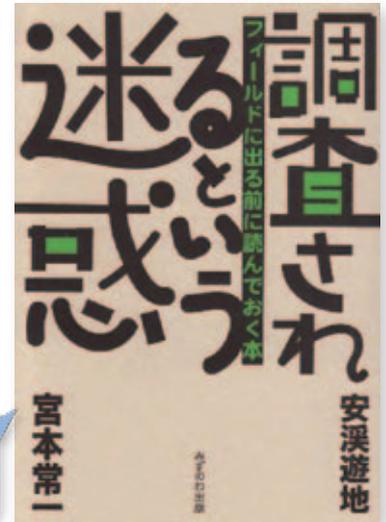
## 調査されるという迷惑 — フィールドに出る前に読んでおく本

宮本常一、安溪遊地著 みずのわ出版 2008

みなさんが論文などのために地域という現場で調査を行うとき、聞き取りや観察などのフィールドワークを行うことがあるかと思います。しかしながら、効率よくたくさんのデータを集めたい、自分の知りたいことだけを把握したいということばかり優先してしまうことはないでしょうか。学生の教育や研究のためだから、高知大生がわざわざ来ているのだから協力してもらえて当たり前と思いついてしまうことは

ないでしょうか。

この本は、調査を受ける側の地域の人たちの声、そして研究者たちの失敗が溢れた「怖い本」です。「人文科学が訊問科学に」「調査をしてやるという意識」「略奪調査の実態」「バカセなら毎年何十人もくるぞ」と様々なタイトルが並んでいます。この本を読むことで、フィールドに入る自分を冷静に見つめ直すもう一人の自分が見つかるようになるはずですよ。



### 所蔵状況

所蔵館	配置場所	請求記号
中央館	A4開架	389/Tyo
物部分館	南閣一般	389/Tyo

**推薦者**  
地域協働学部教員  
田中 求

**推薦者**  
医学部教員  
佐藤 隆幸

## 生体制御理論テキスト

Howard T. Milhorn, Jr. ph.D. 著 須田勇 監訳 医学書院 1969

私の心に残る一冊は、残念ながら絶版となっている図書館所蔵本である。が、しかし、未だ途絶えていない私の人生に未曾有の打撃を与えた一冊である。生命現象を時間軸で定量的に計測し、システム工学の手法でモデル化し、実験で検証し、さらにモデルを改変しながら完成させる。そして完成したモデルを使って病態の終末を予測したり、予防したり、治療することができるようになる、ということを見事に説明している。1982年10月27日の日付が返却期限

票に刻印されていることから、私は、今から35年前にこの一冊と出合ったことになる。その後、この本がきっかけとなり「神経刺激で自在に血圧を制御する装置」を開発することができた、と言っても過言ではない。

なにも絶版となった本を学生諸君に薦めようと思っているわけではない。それぞれが、「心に残る一冊」に出合えるよう新旧の本を手にとつて欲しい、という願いを伝えたかったのである。

### 所蔵状況

所蔵館	配置場所	請求記号
医学部分館	2F書架(専門)	QT/34

## 男の作法

池波正太郎著 新潮社 2007(新潮文庫)



今すぐにも読みたいのですが、なんだかもったいない気がして読まずにいる本がいくつかあります。その一つが鬼平犯科帳なのですが、テレビドラマ化された有名な作品ですね。実在する長谷川平蔵を主人公とする歴史小説で、なんでも江戸時代の街並みや料理の描写が素晴らしいそうです。今回紹介したいのは鬼平犯科帳の作者、池波正太郎氏が書いた『男の作法』という本です。この本は、身

成りや持ち物、食事や酒の楽しみ方、家族、仕事やお金のこと、死や生などについて池波氏が考える男の作法が書かれたエッセイです。この本を読むと亡くなった大正生まれの祖父と話しているような感覚になるのですが、調べてみますと池波氏も同じ大正生まれでした。若い学生の皆さんには時代錯誤と思われるかも知れませんが、私はこの本にあるような男のこだわりを粋で素敵だなぁと感じます。

**推薦者**  
農林海洋科学部教員  
村松 久司

### 所蔵状況

所蔵館	配置場所	請求記号
中央館	A2ブラウジング	新潮文庫/い-16-22

# 三に薦める本



## プログラムはなぜ動くのか - 知っておきたいプログラミングの基礎知識 第2版

矢沢久雄著 日経BP社 2007

皆さんが普段なにげなく使っているスマートフォンのアプリやパソコンのソフトなどは、プログラミング言語で開発されたプログラムからできています。LINEで連絡を取り合うのも、カメラで写真を撮り保存するのも、エクセルで表計算するのも、全てプログラムを使って行われます。では、そのプログラムとはなんのでしょうか？そしてプログラムはスマートフォンやパソコンの中でどのように動き、アプリとして働くのでしょうか？それについてコンピュータの仕組み

をもとに、基礎的な部分から解説しているのが本書です。スマートフォンやパソコンはブラックボックスのままでも使えます。ですが、その仕組みを一度理解すればそれらがより身近に感じられ、より使いこなせるようにははずです。小学校でのプログラミング教育が必修化されようとしている昨今、プログラムが動く理屈を知りたい人やプログラミングに興味があるという人は本書をパラパラとめくってみてはいかがでしょうか。

**推薦者**

学術情報基盤図書館教員  
石黒 克也



**所蔵状況**

所蔵館	配置場所	請求記号
中央館	A3開架	007.64/Pur
医学部分館	2F書架(一般)	007.6/フ
物部分館	南閣一般	007.64/Pur

## 読んでいない本について堂々と語る方法

ピエール・バイヤール著、大浦康介訳  
筑摩書房 2008

ある本について意見を求められた時、その本を読んでいないのだ、と相手に告げるのに、気まずさ、或いは気恥ずかしさのようなものを感じたことはありませんか？ そう、私達は往々にしてこの気まずさ、気恥ずかしさに出会います。しかし私達はこのような状況において、本当に気まずさを覚える必要があるのでしょうか？

一見ハウツー本のような題名の本書ですが、その内容とは言えば、実は既成の読書観に疑義を呈するもので、著者は

様々な角度から読書というものを問い直します。著者はフランス人の文学者ではあるのですが、手塚治虫や夏目漱石など、取り上げられている例も私達にとって馴染み深いものが多く、また、機知とユーモアに富んでいることも相まって非常に面白く読むことができます。今までに「読んでいない」という言葉を口にして気まずさ、気恥ずかしさを覚えた方も、そうでない方も、一度手に取って自身の読書観を揺さぶられてみてはいかがでしょうか？



**推薦者**

人文学部国際社会  
コミュニケーション学科4年  
西島 龍太郎

**所蔵状況**

所蔵館	配置場所	請求記号
中央館	A4開架	019/Yon



# めでいもり Report

## ■中央館にインタラクティブホワイトボード (IWB)を導入!

メディアの森2Fアクティブラーニングフロアにインタラクティブホワイトボード (IWB)を設置しました。ご自由にお使いいただけます。

インタラクティブホワイトボード (IWB)、難しい名前ですが、いわゆる電子黒板のことです。ホワイトボードとしても利用できるし、パソコンの画面を表示することも、また、USBから直接PDFファイルやPowerPointファイルを読み込んで書き込みすることができ、書き込んだ内容はPDFファイルにして持ち帰ることが可能です。

グループワークも大画面で情報を共有しながら行うと効率も質もアップすること間違いなし、どんどん使い倒しましょう! 利用の仕方がわからなければ、遠慮なく職員に尋ねてください。



## ■UpToDate(臨床支援ツール)が更に便利になります

平成29年10月1日より、医学部ネットのみで利用可だったものが、アカウント登録によりどこからでも利用できるようになりました。ご自身のパソコンや、スマートフォン・タブレット等のご利用も可能となります。また、スマートフォン・タブレット向けのモバイルアプリもあります。(医学部ネット内は従来どおりアカウント登録なしで利用できます。)

医学部ネット外からの利用に必要なアカウントの登録方法は、医学部分館サービス係(内線22490 kg05@kochi-u.ac.jp)までお問い合わせください。

アカウント登録会も開催しますので、ぜひご参加ください。



### UpToDate とは?

世界臨床各分野の専門医が執筆・編集・ピアレビューを担当し、最新の医学文献をエビデンスに基づいた推奨治療法にまとめた「臨床意志決定支援ツール」です。

### Information

#### UpToDateアカウント登録会

日時:11月8日(水) 15:00~19:00

場所:看護学科棟2階 情報処理実習室(岡豊キャンパス)



## ■物部分館 企画展示

物部分館では、昨年度、平成28年5月31日~平成28年7月31日にテーマ「夏」と平成28年10月1日~平成28年12月5日にテーマ「秋」として夜間学生スタッフによる企画展示を実施しました。

本年度1回目は、平成29年6月2日~平成29年8月7日までテーマを「学問のすすめ」として勉強に関する図書を展示することになり、「森林」「生物多様性」「昆虫」「毒をつくる生物」「採集」「土壌」「TOEIC」「たこ」についてスタッフのおすすめ本のポップも作成して展示しました。

また、同時に高知県立図書館のまとめ貸制度を利用して、スタッフの企画展示のテーマに関係する図書を借り、一緒に利用させてもらいました。



## ■全国大学ビブリオバトル2017首都決戦～高知ブロック予選会」を高知大学で開催しました(中央館)

7月19日、朝倉キャンパスメディアの森2Fアクティブラーニングフロアで高知ブロックの予選会が開かれました。6名のバトル参加者、自分が読んで面白かった本を紹介してくれました。接戦の末、選ばれたチャンプ1名は11月19日(日)13:30～金高堂本店にて開催の高知地区決戦に出場予定です。そして見事チャンプになれば、東京で開催の首都決戦へ!



### Information

「私も出たかった～」という貴方、まだチャンスがあります! 本学での2回目が10月25日(水)12:30～メディアの森2Fで開催されます。ぜひぜひ参加してお薦め本について熱く語ってみませんか?

【参加申し込み】下記のいずれかでどうぞ

- ・メール: kg07@kochi-u.ac.jp  
氏名(ふりがな)、電話番号、メールアドレス、大学名、学部・コース名等を記載してください。
- ・直接申し込み: メディアの森1F総合案内まで

第2回  
(高知大学会場)

10/25  
開催決定!

## ■「文献検索データベース(MLA,ERIC)講習会」を開催しました(中央館)

6月29日朝倉キャンパスメディアの森2F教育端末室でプロ講師による「MLA International Bibliography」(Modern Language Association製の言語学、文学関連データベース)と「ERIC」(アメリカ教育省・国立教育学会図書館製作の教育学全般の基本的なデータベース)の講習会を開催しました。参加者からは、いろいろな機能について、わかりやすく説明を受けることが出来て良かったなどの感想がありました。



読みたい本が図書館にない...  
と思ってるあなた!に朗報。

### Information

## ■ブックハンティング参加者募集

ブックハンティングは、図書館に置いてほしい本を書店であなた自身が選ぶイベントです。ぜひご参加ください。

日時場所:

10月11日(水)12:00～13:30 金高堂高知大学医学部店  
10月14日(土)10:00～11:30 金高堂本店  
10月18日(水)12:30～14:00 高知大学生協書籍部  
(朝倉キャンパス)

※当日は現地集合です。

募集人数:各15名程度(本学の学部学生・院生対象)

参加申し込み・問い合わせは各キャンパスの図書館へ

- ・図書館サービス係(中央館) kg07@kochi-u.ac.jp
- ・医学部分館 kg05@kochi-u.ac.jp
- ・物部分館 kg06@kochi-u.ac.jp

## ■「平成29年度(第1学期)レポート作成セミナー&相談会」を実施しました(中央館)

中央館では、5月10日～6月21日の期間、学生支援として「レポート作成セミナーと相談会」を朝倉キャンパスメディアの森2Fアクティブラーニングフロアで開催しました。

好評だった昨年に引き続き、学生総合支援センターの坂本智香先生のレクチャーによるセミナー&相談会には、毎回多くの学生が参加しました。作成セミナーでは、レポートを作成するに当たって何をどうすればよいかわからないという1年生を中心に書き方の基礎から説明がありました。相談会では、レポートの作成段階における具体的なアドバイスが行われました。期間中、参加した学生数は約100名となりました。また、今回は、岡豊キャンパスでも5月31日に開催され多くの学生が参加しました。

参加した学生さんにとって、これからのレポート作成に当たり大きな支援となったようです。

### Information

2学期も「レポート作成セミナー&相談会」を開催予定です。

詳しい日程などは図書館ホームページ・掲示板などでお知らせしますので、ご確認ください。

### Information

## ■ブックリクエストWEEKのお知らせ(物部分館)

図書館(物部分館)に置いてほしい本のリクエストを募集します。書店で見つけた本やネットで探した本もOKですので下記の方法でリクエストをお寄せください。

【日時】10月3日(火)～10月13日(金)

【受付】物部分館窓口

リクエスト: 申込書またはメールでの受付

※リクエスト受付は農学部・農林海洋科学部の学生・院生に限ります。

■問い合わせ: 物部分館サービス係  
kg06@kochi-u.ac.jp

## 「図書リユースセール」のお知らせ(中央館)

図書館で不用になった図書や雑誌のリユースセールを行います。今年も以下の日程で開催します。欲しかったお宝資料があるかもしれません。ぜひお立ち寄りください。

日程：11月16日(木)～11月18日(土)

場所：メディアの森2F

## 秋の図書館ガイダンスについて

中央館・物部分館では10～11月に図書館ガイダンスを予定しています。CiNii等を利用した雑誌論文検索から検索した論文の入手方法などを職員がわかりやすくご案内します。開催日程は図書館ホームページや掲示でお知らせします。

### 【オンデマンドガイダンス】

ゼミやグループ等でガイダンスをご希望の場合は日程や内容もご希望にあわせたガイダンスを行います。随時受付していますので、ぜひご利用ください。

### ■ガイダンスのお問い合わせ

- 中央館(内線8163)  
kg07@kochi-u.ac.jp
- 医学部分館(内線22490)  
kg05@kochi-u.ac.jp
- 物部分館(内線5117)  
kg06@kochi-u.ac.jp



## 引用文献データベース「Scopus講習会」のお知らせ

これから英文論文を利用することを考えている方を主な対象として、エルゼビア社の引用文献データベースScopusの講習会を開催します。講師は出版元からの専門のトレーナーです。既にScopusや電子ジャーナルを利用しているけれど、もっと便利に活用したい!という方もぜひご参加ください。

### 【日程】

- ◎12月6日(水) 13:30～15:00  
朝倉キャンパス(メディアの森2F教育端末室)
  - ◎12月6日(水) 18:00～19:30  
岡豊キャンパス(看護学科棟2F情報処理実習室)
  - ◎12月7日(木) 13:30～15:00  
物部キャンパス(物部分館情報コンセントブラウズ室)  
※お申し込み・お問い合わせは下記まで
- ・中央館(内線8163)  
kg07@kochi-u.ac.jp
  - ・医学部分館(内線22490)  
kg05@kochi-u.ac.jp
  - ・物部分館(内線5117)  
kg06@kochi-u.ac.jp



## 卒論特別貸出について(中央館・物部分館)

卒論作成のための特別貸出として、通常貸出(5冊2週間)とは別に長期貸出(5冊60日間)ができます。論文提出学年生(学部4年、院2年)が対象です。中央館・物部分館の各窓口にある申請書に必要な事項を記入の上、論文指導教員に承認印をもらってから申請してください。

## | 編 | 集 | 後 | 記 |

英語多読コーナーを一新し、利用しやすくなりました。気軽に英語に触れてみませんか? CD付きの本もあるので、リスニング力をUPさせることも! 中央館ではIWBも導入しています。こちらもまずは気軽に使ってみてください。一人で読書もよし、グループで学習もよし、皆さんの来館をお待ちしています。

## あうる No.18 (2017年10月発行)

### 【編集・発行】

高知大学学術情報基盤図書館  
〒780-8520 高知市曙町2-5-1  
Tel:088-844-8731 Fax:088-844-8161  
U R L : <http://www.lib.kochi-u.ac.jp/>  
E-mail : [lib@kochi-u.ac.jp](mailto:lib@kochi-u.ac.jp)